

ナンバリング・システム作成の基本ルール

本学では、平成28年度カリキュラムから、学部の授業科目に適切な番号を付与し分類する「科目ナンバリング」を導入しています。ナンバリングコードは、教育課程における該当授業の位置づけ等を示したコードであり、体系的な教育課程を編成するため、次の項目についてアルファベットや数字で表示したものである。

例) ① **PHYS** ② **1020** ③ **J** ④ **LAS** ⑤ **02**

各コードの説明

No.	コード名	
①	科目領域コード	当該授業科目の学問分野を示すコード。 興味のある学問分野があれば、教務情報システム(シラバス)の画面において、科目領域や水準番号等でキーワード検索ができる。
②	水準番号	各学問分野における当該科目の概ねのレベルを示す。 0=公開講座等、単位なしの科目 1=教養入門科目 2=専門基礎科目 3=専門応用科目 4=専門総括科目 5=高度な学部専門科目(履修資格設定)、および医歯薬系5・6年次用専門科目、大学院入門用科目、 6=修士(博士課程前期)課程用科目 7=博士(博士課程後期)課程用科目
③	個別番号	授業の方法を反映した個別番号とすることを基本とする。 000~399=講義科目 400~599=演習科目 600~799=実験科目 800~899=実習(インターンシップを含む)科目 900~999=(特別講義等の新規開発科目)、学位論文作成関連科目
④	言語コード	当該科目の授業を行うために使用する主な言語を英文字1字で示す。 J: 日本語で行う授業 E: 英語で行う授業 B: 日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語(日本語又は英語)を決定する授業 F: 英語以外の外国語で行う授業 R: その他(例えば日本語とドイツ語のバイリンガル授業など)
⑤	学部・学科等コード	当該科目を開講する学部・学科・専攻、もしくは部局コードをアルファベットの大文字3文字で示す。
⑥	セッション番号	全学で開講されている科目の中で、同一科目名で複数の時間・曜日に開講されている科目に番号を付して、それぞれを区別する。